公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

探鳥会スタッフ通信

2019年
3月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆特集「初心者向けバードウォッチング」 1
（佐賀県支部、ひょうご、神奈川支部、静岡支部、京都支部、沼津支部、筑後支部）
◆秋期初心者向けバードウォッチング結果一覧 13
◆普及室からのお知らせ・・・・・・・・・・ 14
・2019年「ツバメのねぐら入り観察会」の情報をお寄せください
・春期「初心者向けバードウォッチング」を広報します
◆探鳥会保険集計結果（2019年1月分） 15
◆今月の購読者数 16
◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について 17
◆編集後記 17

表 1.

実施日	支部	実施場所	
2019年1月　6日（日）	佐賀県支部	佐賀市	東よか干潟
2019年1月14日（祝）	ひょうご	西宮市	夙川河川敷緑地
2019年1月19日（土）	神奈川支部	鎌倉市、横浜市	柏尾川
2019年1月19日（土）	静岡支部	藤枝市	蓮華寺池公園
2019年1月19日（土）	京都支部	京都市	京都御苑
2019年1月20日（日）	沼津支部	沼津市	門池公園
2019年1月20日（日）	筑後支部	久留米市	篠山神社と筑後川

◆特集「初心者向けバードウォッチング」

東よか干潟　初心者向けバードウォッチング（佐賀県支部）

【日程】2019年1月6日（日）10時00分～12時00分
【場所】東よか干潟（佐賀県佐賀市）
【天候】晴れ
【参加者】32名（会員24名、非会員6名、他支部会員2名）
　　このうち初心者向け探鳥会として参加されたのは、4組5名
【リーダー】2名、財団職員1名

【広報】＜インターネット＞　支部 HP、財団 HP／Facebook／twitter
＜メール＞一斉メール送信（10/1～5、全国約 60,000 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（12 月初旬から全国約 65,000 名に送付）

■佐賀県支部の状況

今年度から「初心者向け探鳥会」を実施することになった佐賀県支部。昨年 11 月 25 日の森林公園探鳥会に続き、2 回目の開催となる 1 月 6 日東よか干潟探鳥会に参加してきました。

佐賀県支部では、有明海にある肥前鹿島干潟、東よか干潟の 2 か所のラムサール条約登録湿地を擁し、近年は行政ほか様々な方面から協力要請が相次いでいます。また、風力発電や蓮田の羅網死への対応など保護問題への対応にも奔走され、支部の社会的な役割が年々重くなってきているところです。

特に羅網死については、1 月に地元新聞の取材を受け、通常よりも低い位置に網を張ることで羅網死のリスクを軽減できるという旨の提言を行い、これがきっかけで農家の網の貼り方が変わるなど大きな成果がありました。

また、毎年探鳥会リーダーズフォーラムに、若手の会員を送り込むなど人材育成にも投資されており、支部の会員も微増傾向にあり、勢いを感じていました。

支部長の宮原さんに伺うと、目下の悩みはスタッフの高齢化だそうです。そのため、普段から探鳥会で若い会員を見かけると、とにかく声をかけるようにしており、ご本人がやる気のある方であれば、支部として積極的に支援して探鳥会リーダーに登用したり、探鳥会リーダーズフォーラムにも支部から補助金を出して送り出しているとのことでした。

■初心者向け探鳥会を実施した理由

今回財団との共催で「初心者向け探鳥会」を実施しようと考えたのは、探鳥会に一般の方（非会員）を呼び込みたいということが動機でした。

これまでの定例探鳥会は、参加者のほとんどが会員で、一般の参加者は極めて少数です。この傾向は、探鳥会が会員の交流の場になるなどよい面もありますが、支部に新しい人材が入ってこないというマイナス面もあります。

もう少し一般の方が探鳥会に参加しやすい状況を作ることができれば、若い人との接点も増え、その中から将来支部を支えてくれる方も出てくるのではないか、ということで「初心者向け探鳥会」への参加を決めたそうです。

初心者にガイドするリーダー

■探鳥会の様子

今回の探鳥会は、定例探鳥会と初心者探鳥会の合同開催の形で行われました。初心者探鳥会の集合時間を定例探鳥会よりも 30 分遅らせて、受付と冒頭のレクチャーをおこなったのちに定例探鳥会の中に合流してもらうというものです。

この日は、定例の参加者は 28 名。初心者向け探鳥会の参加者は 4 組 5 名でした。私がお話を伺った参加者は、大阪の会員ご夫婦と福岡から参加のご夫婦で、みなさん「一度来てみたかった。」とおっしゃっていました。

東よか干潟は干潟と後背地との間に柵があり、鳥がいる水際には人が近づけないようになっています。鳥たちも人が近づかないことを知っているためか、大勢の人が望遠鏡を向けていても鳥が逃げないため、鳥との距離が近く絶好の観察条件で観察することができます。雲霞のごとく干潟を舞うハマシギの群れや、景色の中に鳥があふれかえっている様子に参加者からは感嘆の声が上がっていました。

探鳥会としては大いに盛り上がったのですが、支部長の宮原さんと事務局長の中村さんはシビアに状況を見ていました。東よか干潟は日本屈指の探鳥地ですが、アクセスが悪くバードウォッチングをしない人には知名度は高くありません。普段の探鳥会でも、会員の他は県外のバードウォッチャーが多く、ビギナーは参加してきません。しかし入会してもらおうとすれば、県内のビギナーを集客する方が効果的です。そういう意味では、東よか干潟は初心者探鳥会の会場としては不向きで再考の必要があるのかもしれないという分析をされていました。

■有名な探鳥地をもつ支部の悩み

佐賀県支部の状況をお聞きする中で、他の支部とも共通する、もう一つの悩みがあるのではないかと思いました。それは、東よか干潟のような有名探鳥地で行う探鳥会には、県外のバードウォッチャーの参加が多くなるということです。全国の支部の中には、鳥を見る人なら誰でも知っている有名探鳥地を擁する支部があります。そうした場所の探鳥会には、県外からのバードウォッチャーが多く参加する傾向があるようです。

もちろん県外のバードウォッチャーに来てもらいファンになってもらうことは、自然観光を盛り上げることにつながり、地元の経済にとっては喜ばしいことかもしれません。佐賀県支部にも、県外の支部やツアー会社からは「ガイドをしてほしい」という声がたくさんあるそうです。しかし、その期待に応えようと目先の対応に忙殺されてしまうと、長い目で見たときに支部の体力は衰えていきます。支部の運営は、探鳥会などの普及活動で会員が増え、その中から支部の人材が育ち、保護活動が持続するというサイクルを回していかなければ活動が持続しません。

今回お話を伺って、ラムサール景気という追い風の中で、今後支部の体力をどれだけ増強できるかが重要だと感じました。今後も佐賀県支部の動向に注目していきたいと思います。

（普及室／箱田敦只）

【性別】

男性	2名
女性	3名
未記入	0名

【年齢構成】

9歳以下	0名
10代	1名
20代	0名
30代	0名
40代	0名
50代	1名
60代	2名
70代	1名
未記入	0名

【認知経緯】

郵送パンフ	2名
メール	0名
新聞	0名
友人・知人	0名
HP支部	1名
HP本部	2名
FB	0名
LINE	0名
その他	0名

【会員・非会員】

一般	4名
会員	1名
不明	0名

【BW経験】

1回	1名
2~4回	1名
5~9回	2名
10回以上	1名
未記入	0名

【居住区】

福岡市	2名
久留米市	1名
大分市	1名
佐賀市	1名

はじめてのバードウォッチング in 夙川（ひょうご）

【日時】2019年1月14日(月・祝)
10時～12時50分
【天候】晴れ
【場所】夙川河川敷緑地(西宮市)
【参加者】64名（一般62名、他支部会員2名）
【リーダー】16名　財団職員1名
【入会者】お試し入会：11名
正式入会希望：2名（入会申込書お渡し）
【広報】＜インターネット＞支部HP／Facebook／twitter、財団HP／Facebook／twitter
＜メール＞一斉メール送信（1月初旬、全国約60,000名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（12月初旬から全国約65,000名に送付）

■探鳥会概要

今回の会場、夙川（しゅくがわ）河川敷緑地は、夙川の河口から内陸4kmにわたり河川敷沿いに整備された都市公園です。JR、阪急電車、阪神電車の3路線の駅が近い大変にアクセスに優れた立地で、旧所名跡と共に四季折々の自然を楽しむことのできる阪神間でも有数の市民の憩いの場となっています。園路は広く平坦で分岐や危険個所もほとんどなく、初心者向け探鳥会にとても適したコースです。

広報は支部 facebook、個人 facebook にとどめ、財団発信広報での集客がメインとなりました。大人数の参加者があった場合を想定して16名のリーダーを確保し、当日もコース下見をしました。

スタッフ打合せでは、集合場所の阪急夙川駅前が狭いため近くの広場にある公園までスタッフが順次案内することを周知します。受付の

手順やコース、班分け、お試し入会 PR の方法などについても確認し準備を整えました。
　暖かく穏やかな探鳥会日和。期待に満ちた面持ちで 50 人以上もの参加者が次々と集まってきました。

■受付の様子（ちょっとハプニング付き）
　集合場所に到着した参加者に受付名簿用紙を含む今日の資料一式を入れた封筒を手渡しながら、オープニングを行う広場まで移動することを伝えます。数組ずつリーダーがエスコートし、横断歩道や交差点ではスタッフが
待機して広場まで無事に参加者を誘導し終え、さあオープニング･･･と思ったら、なんと、
「広場でゲートボールやってて使えません!?」
早朝の下見では他グループの公園利用の状況が予見できるはずもなく、急遽大人数を集めて話ができる場所を探して移動しました。想定外の事態にやや混乱しましたが、参加者一人一人に封筒入りの資料を渡していたおかげで受付名簿はスムーズに記入してもらうことができました。

■探鳥会の様子
　落ち着いたところで改めて挨拶からはじめます。支部長挨拶、双眼鏡の使い方説明に続き、参加者を 5 つの班に分けました。うち 1 つは親子連れ班とし、子供対応が得意なリーダーを配置。他の班もそれぞれ 2~3 名のリーダーで案内します。さらに全体の進行管理ができるよう、今回の企画の詳細を把握しているメインスタッフ 2 名は担当班を持たずに自由に動けるようにしました。
　河川敷沿いのコースは細長く樹林が配置されて明るく、水辺の鳥も林の鳥もまんべんなく観察することができます。どの班も出発して早々にセキレイ３種に出会うことができました。今日の配布資料の表紙に大きくイラストで描かれているのはまさしくその３種。本日の主役の愛らしい姿に参加者の感嘆の声があちこちで上がっています。欲張りすぎずに的を絞って作成した資料が効果的で、今日の参加者の心にはしっかりとセキレイが残ったことと思います。
　丁寧な観察案内をするとペースダウンすることが悩ましいところ。先行班と後続班でやや間隔があいてしまいました。そこですかさずフリーのスタッフが動き、さりげなく各班にペースアップを伝えて回ります。
参加者には終了が予定時刻より遅くなりそうなので、リーダーに一声かけて途中で帰っても構わないことを伝える配慮もされました。

■訪問型 PR タイム？！
　ひょうごのフリースタッフはもう一つ重要な役割を持っています。各班の観察の合間に「ちょっとお知らせと CM で～す」と PR の時間を作ることです。簡潔明瞭にまとめた紙芝居状の小道具を使って、会の活動紹介とお試し入会の勧誘を短時間で実施します。専任のスタッフがツールを使って行うことで伝える内容に漏れや間違いが起こりにくく、近い距離で参加者の反応が確認しやすい方法です。「入会申込は私までどうぞ」と参加者に伝えるのも入会へのアクションを起こしやすくするコツだと思いました。大型の探鳥会で参加者全体へのアナウンスが難しい場合には、班毎にリーダーが勧誘する方法と共に、このように専任スタッフが各班に出向いて PR する方法も有効ではないでしょうか。
　PR が終了してほどなく、全ての班がゴール地点の海岸に到着。鳥合わせの後、皆でにこやかに記念撮影して散会しました。

訪問型PRタイム

■まとめ
　念入りに下見をしたにもかかわらず、想定していた場所が使えないというハプニング。
なさそうで、実は意外に皆さん経験されているのではないでしょうか。大型の探鳥会になればなるほど、２重３重の安全策を講じておく必要があるなあ、と改めて思いました。
　１１名のお試し入会、２名の正式入会希望がありましたが、スタッフからは「もう少し入会してほしかった」の声も。今回の反省を踏まえて早速次の企画を練ってくださっているひょうごの今後の活動が楽しみです。

（普及室／浅野綾子）

【性別】

男性	18名
女性	43名
未記入	0名

【年齢構成】

9歳以下	5名
10代	11名
20代	5名
30代	3名
40代	12名
50代	9名
60代	14名
70代	2名
未記入	0名

【認知経緯】

郵送パンフ	17名
メール	12名
新聞	0名
友人・知人	7名
HP支部	9名
HP本部	3名
FB	2名
LINE	0名
その他	1名

【会員・非会員】

一般	61名
会員	0名
不明	0名

【BW経験】

1回	34名
2～4回	14名
5～9回	7名
10回以上	2名
未記入	4名

【居住区】

西宮市	21名
神戸市	14名
芦屋市	4名
加東市	3名
尼崎市	3名
明石市	3名
兵庫県	4名
大阪市	5名
京都市	4名

はじめてのバードウォッチング@京都御苑（京都支部）

【日　時】2019年1月19日(土)　9時30分～12時
【天　候】晴れ
【場　所】京都御苑（京都市）
【参加者】20名（一般名、会員名）※事前申し込み
【リーダー】9名　財団職員1名
【広　報】＜インターネット＞　支部HP、財団HP／Facebook／twitter
＜メール＞　一斉メール送信（1月初旬、全国約60,000名に送信）
＜チラシ＞　探鳥会のご案内（12月初旬から全国約65,000名に送付）

■探鳥会概要

京都御苑での初心者向け探鳥会は昨年度に続き2回の開催です。昨年度は当日受付で実施したところ90名以上の参加者が殺到し、十分な対応ができなかったとほろ苦い思いが支部スタッフの中に残りました。

その反省を踏まえて今年度は大幅に内容を見直し次の3つの大きな変更をしました。①定員30名の事前申し込み制を採用、②コース距離を半分程度に短く設定。かつ、解散時間20分前にはゴールに到着し入会案内できるように時間配分、③お試し入会の案内はせずに正式入会の案内を実施する（後述）。他にも多くの細かな工夫を練りこみ、スタッフは事前メールと当日の打合せで探鳥会の進行方法を確認・共有して実施に臨みました。

■『おさんぽ鳥図鑑』をカスタマイズ！

当日は穏やかに晴れ、多くの市民が京都御苑を行き交っています。広々とした御苑の入り口でも、スコープやフラッグを目立つように設置した集合場所はよくわかり参加者は迷わずに集まってきました。受付でのスタッフの役割分担も適切でスムーズに作業が進みます。参加者に配布する資料は「おさんぽ鳥図鑑」だけのようです。筆者も一部頂いて中を確認してビックリ！なんと、おさんぽ鳥図鑑と同じサイズにコンパクトにまとめられた今日の資料（注意事項、コースマップ、鳥チェックリスト）が最後のページにホチキス止めしてあります。これなら配布する側も受け取る側も落としたり失くしたりする心配が少なく、探鳥会中の資料の扱いが格段に楽になりそうです。実施前の一手間で当日の進行をスムーズにする工夫。こんな使い方もあるなんて「目からうろこ」の思いがしました。

■探鳥会の様子

定刻通りにオープニングの挨拶が始まりました。スタッフ紹介、配布資料の確認の後、参加者の属性（単独参加、複数人での参加、子ども連れ）によって班分けをして班ごとの活動に移ります。後発班は双眼鏡の説明で出発時間を調整するなど、班同士がつかず離れずの距離を保つように、各リーダーが気を配りながら進みます。

御苑内の見通しの良い林床ではビンズイやアトリなどがよく観察できます。カラ類の混群やジョウビタキ・ルリビタキ・エゾビタキにも出会うことができ、リーダーの丁寧な説明を聞きながら参加者は熱心に双眼鏡やスコープで観察していました。各班10人以下の参加者に3名のリーダ

ーが対応し、とても楽しい充実した時間を過ごせたようです。

紙芝居を使った支部紹介

■「今ならお得！正式入会しませんか？」

ゴール地点では班ごとに鳥合わせをした後、全体で紙芝居を使った京都支部の活動紹介、正式入会の案内をしました。『探鳥会当日の入会なら入会金 1000 円 OFF』の特典をアピールし、２名の正式入会がありました。

京都支部は今年度の初心者向け探鳥会では試験的に正式入会を案内することにされました。初心者向け探鳥会の実施実績が蓄積され、お試し入会と正式入会の違いが参加者にわかりにくいことや、事務手続きの労力、正式入会への移行に効果的につながっているかの検証時期になったことなどから、今までとは違った角度での入会案内のアプローチを試すことになったそうです。支部内にはお試し入会制度を推す意見もたくさんあるとのこと。試行の結果は今後の会員獲得戦略に有用な情報を多くもたらしてくれることと思います。

■まとめ

定員制事前申し込みや、コースの短縮などが効果的に機能して、スムーズな運営と参加者の高い満足が実現しました。スタッフの振り返りミーティングでは、「キャンセルを見越して定員を多めの設定にしてもよかった」との意見や、「正式入会 1000 円 OFF を事前に PR しておけばもっと申込があったのでは？」との意見があがりました。試行錯誤した結果をすぐに検証し、企画をさらにブラッシュアップすることを大切に京都支部が活動されていることがよくわかります。初心者向け探鳥会での正式入会案内の効果に今後も注目したいと思います。

（普及室／浅野綾子）

【性別】

男性	８名
女性	11 名
未記入	１名

【年齢構成】

９歳以下	３名
10 代	０名
20 代	１名
30 代	０名
40 代	２名
50 代	６名
60 代	５名
70 代	３名
未記入	０名

【認知経緯】

郵送パンフ	４名
メール	４名
新聞	０名
友人・知人	２名
ＨＰ支部	４名
ＨＰ本部	６名
ＦＢ	０名
LINE	０名
その他	０名

【会員・非会員】

一般	19 名
会員	０名
不明	１名

【ＢＷ経験】

１回	８名
2～4 回	９名
5～9 回	１名
10 回以上	１名
未記入	１名

【居住区】

京都市	６名
大津市	４名
朝来市	２名
生駒市	２名
西宮市	２名
枚方市	２名
宝塚市	１名
奈良市	１名

初春の鎌倉・柏尾川でのんびり野鳥を観察しませんか（神奈川支部）

【日程】2019 年 1 月 19 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分
【場所】柏尾川（神奈川県鎌倉市、横浜市）
【天候】晴れ
【参加者】21 名（うち一般参加者 21 名）
【リーダー】４名、財団職員１名
【広報】＜インターネット＞財団 HP／Facebook／twitter
＜メール＞一斉メール送信（1 月初旬、全国約 60,000 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（12 月初旬から全国約 65,000 名に送付）

■探鳥会の概要

この探鳥会は、神奈川支部では初めての「お試し入会つき」の探鳥会です。１グループの参加者につき代表者 1 名がお試し入会される仕組みとなっています。参加費は、人数分の資料代 350 円と、おためし入会の費用 1,000 円です。メール

での事前申込み制で、参加者には支部から事前に集合場所の地図や緊急連絡先など、当日の詳しい案内が送られています。コースは、JR 大船駅から、柏尾川沿いの遊歩道を約 1 キロ歩くというものです。

またこの探鳥会は、神奈川支部の支援グループ「鎌倉自主探鳥会グループ」の後援で開催されました。

■探鳥会の様子

探鳥会の集合場所は、JR 大船駅の改札前と案内されています。改札前ではリーダーが待機して、参加者を、受付場所である駅前のスペースの広い場所へと誘導しました。

受付の手間を減らすため、お試し入会申込書は記入済みのものを参加者に持参していただいています。参加費・お試し入会費の徴収、カード式名簿の受け渡し、お試し入会者のための缶バッチや資料等の配布をおこないました。

受付の後、主担当リーダーからはじめの挨拶がありました。野鳥の種類だけでなく、しぐさや個性にも注目して野鳥観察を楽しんでほしい、ということや、観察中に、野鳥をおどろかさないように注意してほしい、といったことが伝えられました。

挨拶の後、まずは、大船の観光名所「大船観音」をバックに皆で記念写真を撮ってから、いよいよ探鳥会がスタートしました。電線にとまるスズメや、建物の屋根にとまっているハクセキレイ、さまざまなカモたちを、和やかな雰囲気でゆっくりと観察していきます。主担当のリーダーは、観察している野鳥たちを丁寧に解説していき、参加者の方々は興味津々で聞き入っていました。リーダーの話を聞きながら、配布資料のメモ欄に熱心に書き込みしている方が何人もみられました。

主担当リーダー以外の方々は、一番後ろや列の中ほどで解説をしています。どの場所にいる参加者でも、疑問に思ったことを、近くのリーダーに気軽に聞くことができる雰囲気で、

「鳥を見かけたあとに、図鑑で名前を調べるコツは何ですか？」

「家の近くにセキレイの仲間のような鳥がいるのだけれど、種類が分からなくて…」

といった質問が出ていました。

また、この日はカワセミの姿を何度も見ることができました。カワセミという野鳥の名前は参加者の多くが知っている様子で、リーダーの望遠鏡や、持参していた双眼鏡で観察していた参加者からは、

「あ、やっと見つけた！」

「すごくきれい！」

といった嬉しそうな声が聞かれました。

探鳥会のまとめは、橋のたもとのスペースでおこないました。鳥合わせ、観察マナーについて掲載されている配布物の案内や、支部の紹介がありました。締めくくりには、主担当リーダーから、身近な野鳥であるスズメの鳴き声やしぐさに注目するなど、これからも野鳥観察を楽しんでほしいと伝えられていました。

■まとめ

今回は 13 組 21 名の方が参加されたため、代表者 13 名もの方がお試し入会されました。

リーダーの丁寧な解説を聞きながら、皆で一種ずつ同じ野鳥を見たことに加えて、参加者同士の距離が比較的近かったことからか、探鳥会が進むにつれて場の雰囲気がさらに打ち解けていくのを感じました。

また、リーダーの方々が話す野鳥の解説を、参加者の方々がとても熱心な様子で聞き、メモをとっていたのが印象的でした。日本野鳥の会東京の「お試し入会付き」初心者向けバードウォッチングに参加した際も感じましたが、お試し入会することを前提に申し込まれる参加者の方々は、鳥を見たい気持ちの強い方が多いのかもしれません。

■参加者の声

50 代くらいの男性：あまりお金のかからない老後の趣味を探していました。ゴルフに行った際に尾の長いきれいな鳥を見つけて、調べてみたらオナガとわかりました。それがきっかけで鳥にも興味が湧き、インターネットで調べてこの探鳥会を知り、参加しました。

（普及室／井上奈津美）

【性別】

男性	10名
女性	10名
未記入	1名

【年齢構成】

9歳以下	1名
10代	2名
20代	0名
30代	4名
40代	5名
50代	8名
60代	1名
70代	0名
未記入	0名

【認知経緯】

郵送パンフ	4名
メール	6名
新聞	0名
友人・知人	0名
HP支部	5名
HP本部	2名
FB	0名
LINE	0名
その他	2名

【会員・非会員】

一般	21名
会員	0名
不明	0名

【BW経験】

1回	11名
2~4回	5名
5~9回	3名
10回以上	0名
未記入	2名

【居住区】

横浜市	14名
横須賀市	2名
藤沢市	2名
茅ヶ崎市	2名
さいたま市	1名

蓮花寺池公園ではじめてのバードウォッチング（静岡支部）

【日程】2019年1月19日（土）9時00分～11時30分
【場所】蓮花寺池公園（静岡県藤枝市）
【天候】晴れ
【参加者】36名（うち20名が一般参加者）
【リーダー】3名、財団職員1名
【広報】＜インターネット＞支部HP、財団HP／Facebook／twitter
＜メール＞一斉メール送信（1月初旬、全国約60,000名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（12月初旬から全国約65,000名に送付）
＜その他＞支部報

■探鳥会の概要

今回のフィールドは、藤枝市の中心部に位置する「蓮花寺池公園」です。静岡支部では月一回、この公園で定例探鳥会を開いています。

園内には、周囲約1.5kmの蓮花寺池と小高い丘があり、斜面には雑木林や梅園が広がります。水辺の鳥と林の鳥を一緒に楽しめる条件です。園路が整備されていて、のんびり歩きやすいコースです。市民にも公園の存在は広く知られており、広い駐車場も完備されています。初めて参加する方にもわかりやすい場所、歩きやすいコースであることから、今年度は、定例探鳥会のうち一回を初心者向けとして広報することにしたそうです。

■探鳥会の様子

集合場所には、開始時刻の前から会員やリピーターに交じって「初めて参加します」という方が続々と集まってきました。普段の定例探鳥会の参加者は、会員を中心に15名ほどということですが、今回は初参加の方々が加わり、30名を超える規模となりました。

はじめに集合場所で、リーダーのあいさつや注意事項の説明などをした後、バードウォッチングがスタートしました。前半は、蓮花寺池でオナガガモやオオバン、コサギやゴイサギ等を観察しました。その後、林に入り、シジュウカラ、ビンズイ、ルリビタキなどを探しました。丘の上の開けた場所に着くと、遠くには雪をかぶった富士山が見えました。下り道では、斜面に広がる梅林を通過し、梅の香りを楽しみながら歩きました。そして、再度、蓮花寺池で水鳥を観察し、集合場所に戻って鳥あわせをしました。

途中、林の中で、木にとまっているシメやメジロが見られました。ベテランの参加者の方はすぐに「あ、あそこだね」と鳥をみつけて観察。すると、なかなかみつけられない近くの初参加の方に伝え、一緒に観察するという場面がありました。初めての参加者が「すごい！」「かわいい！」と感心している様子に、ベテランの方も新鮮な気持ちで観察されているようでした。

水鳥が間近で見られる蓮花寺池

■参加者の声
・鳥の生態や行動に興味があります。初心者向けのバードウォッチングがあると知り、浜松市から来ました。今日はとても楽しく観察することでき、ぜひまた参加したいと思いました。（50 代男性）
・庭に来る鳥が分かるようになりたいと思っていたところ、娘がこの探鳥会のことを教えてくれて、参加することにしました。（60 代女性）
・子供の頃に鳥が好きで、探鳥会にもよく参加していましたが、大人になってから鳥を見ることはありませんでした。正月に帰省した時に父親宛に届いていた「探鳥会の案内」を見て、子供と参加することにしました。なつかしいです。（40 代男性）

■まとめ
　予想を超える参加者の多さに、リーダーのみなさんは、誘導の方法を工夫したり、安全管理を強化したりと素早い対応をされていました。先頭を行くリーダー、最後尾を務めるリーダーを決めて、遅れる方がいないように気を配る、初心者も多いという状況に合わせ、いつもよりも少しコースを少し短縮する、といった対応もとられていました。
　途中、池の中に浮かぶ島に 10 羽以上のゴイサギが休んでいる様子が観察できました。リーダーによれば、昼間は池で休み、夜に周辺の田んぼなどへ採餌しに「出勤」していくそうです。しかし、最近では、田んぼが減っていて、餌を採れる場所も減ってきているようだ、というお話があり、参加者の方々も興味深く聞き入っていました。会員の方には何気ない会話かもしれませんが、初めての参加者にとっては、新鮮な話題だっと思います。
　鳥を見て楽しむ、ということも大切ですが、鳥をきっかけに地域の自然に興味をもつきっかけを作る、ということも探鳥会の大切な要素であることを再認識しました。このような機会が増えていけば、より多くの方が地域の自然を知ることができ、あわせて地域の自然とつながる支部の活動も伝えていけるのではと思いました。

（普及室／江面康子）

【性別】

男性	7名
女性	9名
未記入	3名

【年齢構成】

9歳以下	0名
10代	3名
20代	0名
30代	0名
40代	4名
50代	3名
60代	4名
70代	4名
未記入	1名

【認知経緯】

郵送パンフ	3名
メール	1名
新聞	0名
友人・知人	3名
HP支部	6名
HP本部	3名
FB	0名
LINE	0名
その他	0名

【会員・非会員】

一般	19名
会員	0名
不明	0名

【BW経験】

1回	6名
2～4回	4名
5～9回	1名
10回以上	6名
未記入	2名

【居住区】

藤枝市	5名
静岡市	3名
焼津市	3名
島田市	2名
磐田市	1名
浜松市	1名
富士宮市	1名
不明	3名

バードウォッチング in 門池公園（沼津支部）

【日程】2019年1月20日（日）9時00分～11時00分
【場所】門池公園（静岡県沼津市）
【天候】くもり時々小雨
【参加者】26名（うち14名が一般参加者）
【リーダー】2名、財団職員1名
【広報】＜インターネット＞支部HP、財団HP／Facebook／twitter
　　＜メール＞一斉メール送信（1月初旬、全国約60,000名に送信）
　　＜チラシ＞探鳥会のご案内（12月初旬から全国約65,000名に送付）
　　＜その他＞支部報

■探鳥会の概要
　沼津市の市街地にある「門池公園」は、沼津支部の定例探鳥会のフィールドです。公園の中心に広がる「門池」には、たくさんの水鳥がやってきて、初めての方でも容易に鳥を見つけることができます。また、駐車場も完備され、アクセスしやすい場所です。そこで今回は、門池公園で開催されている探鳥会を、初心者向けとして広報することとしたそうです。
　会員以外の参加者は、事前申込制で募集されました。前日までに13名の申込みがあったそうですが、当日は雨ということもあり、数組のキャン

セルがありました。しかし、当日直接「参加したい」と来られる方もいて、最終的には一般の参加者は 14 名となり、会員と一般の方が半々という構成になりました。

■探鳥会の様子

集合場所は、門池公園の駐車場です。受付には名簿記入用の組み立て式テーブルが用意され、沼津支部の旗も設置されていました。私も初めて行く場所でしたので、遠くから見ても受付と一目でわかり、とても安心しました。

沼津支部では、前日の天気予報で開催の可否を判断し、支部 HP の掲示板で告知をしています。前日の午後の天気予報では、翌日午前の降水確率は低かったことから、掲示板に開催の告知が出されました。しかし、その夜に天気予報が変わり、当日は開始時刻前から雨が降り始めました。

探鳥会の間は、降ったりやんだりの天気でした。そのため、雨を遮るところがない場所はできるだけ早めに歩き、大きな木が立ち並ぶ林へ早めに移動しました。また、林の中のあずまやで、雨宿りしながら観察をしました。当初は 12 時までの予定でしたが、11 時頃には集合場所の駐車場へ戻り、鳥あわせをして終了しました。

雨の中での探鳥会でしたが、池と林で様々な鳥が観察できました。開始早々、川でセグロセキレイやイソシギが見つかり、見通しのよい橋の上から観察しました。リーダーが鳥の存在を伝えても、初心者のみなさんは、「どこにいるの？」「何で見つかるの？」などと言いながら、不思議そうに鳥を探していましたが、リーダーの丁寧な説明やスコープをのぞかせてもらうことなどで、その存在を確認。初めての方にとっては、あまり聞き慣れない名前の鳥に、興味津々の様子でした。そのほか、池では、カモ類やカワウ、オオバン、カイツブリなどが観察できました。

また、あずまやで雨宿りしていると、「ギー…」というコゲラの声が聞こえてきました。木の幹をコツコツつつくコゲラの姿をリーダーがスコープでとらえ、参加者と一緒に観察しました。ほかにも、あずまやの周りでは、シメやシジュウカラが次々と飛来し、雨宿りの時間も観察を楽しむことができました。

旗が目立ち、遠くからでも目立つ受付

■参加者の声

・箱根などへでかけて自然観察をするのが趣味です。自分たちだけで見ていても、鳥をみつけたり名前を知ったりすることが難しいので、参加することにしました。(50 代女性)

・子供がバードウォッチングが好きなので、一緒に参加しました。いつかオオタカが見たいと言っています。(30 代男性)

・登山が趣味です。山で出会う鳥が分かるようになりたいと思い、登山仲間と一緒に参加しました。（50 代女性）

■まとめ

リーダーの方からは、当初の予想以上に初めての参加者が集まったという感想が聞かれました。事前に参加者が何人くらいになるのかを把握できることは事前申込制のメリットと思います。

予想外の雨でしたが、リーダーの誘導で、出来るだけ雨を避けながら、安全に観察できました。また、雨の中でも参加する方ということだけあり、バードウォッチングへの興味関心が高く、リーダーの解説に聞き入り、質問したり、自分で鳥をみつけようとしたりと、最初から最後まで熱心に参加している様子が印象的でした。

門池公園は、鳥もよく観察でき、コースも起伏がなく、アクセスも良く、また、集客もできるフィールドです。より多くの方にバードウォッチングの楽しさを伝えることができ、地域の自然の理解者を増やし、ひいては支部の活動に興味を持つ方も増やしていける、そんな可能性を強く感じました。

(普及室／江面康子)

【性別】

男性	4名
女性	8名
未記入	3名

【年齢構成】

9歳以下	0名
10代	1名
20代	2名
30代	2名
40代	0名
50代	6名
60代	4名
70代	0名
未記入	0名

【認知経緯】

郵送パンフ	2名
メール	0名
新聞	0名
友人・知人	1名
HP支部	2名
HP本部	2名
FB	0名
LINE	0名
その他	3名

【会員・非会員】

一般	14名
会員	1名
不明	0名

【BW経験】

1回	4名
2~4回	2名
5~9回	2名
10回以上	2名
未記入	5名

【居住区】

三島市	7名
沼津市	4名
裾野市	2名
田方郡	1名
駿東郡	1名

はじめてのバードウォッチング in 篠山神社と筑後川（筑後支部）

【日程】2019年1月20日（日）9時00分～11時30分
【場所】篠山神社と筑後川（福岡県久留米市）
【天候】曇りのち晴れ
【参加者】17名（うち一般参加者8名）
【リーダー】6名、久留米市役所職員1名、財団職員1名
【広報】＜インターネット＞財団HP、財団Facebook／Twitter、久留米市HP
＜メール＞一斉メール送信（1月初旬、全国約60,000名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（12月初旬から全国約65,000名に送付）
＜その他＞西日本新聞社筑後版、久留米市広報誌「広報くるめ」
【後援】久留米市

■探鳥会の概要
篠山神社は、筑後川を望む久留米城の本丸跡にあり、春は桜の名所としても親しまれています。今回が筑後支部で初の「初心者向けバードウォッチング」。支部では、これまでも1月にこの場所で、主に会員の方向けに企画探鳥会を開催してきましたが、今回は同じフィールドで「初心者向けバードウォッチング」として開催されました。
探鳥会は、境内で小鳥を観察してから河原でカモなどを観察するコースでした。初めて参加する参加者に手厚い対応ができるようにと、各定例探鳥会からリーダーが集まり、支部から6名のリーダーで一般参加者8名（全参加者17名）をほぼマンツーマンで案内しました。

■探鳥会の様子
この日の午前中は雨予報となっており、天気が心配されましたが、受付前には雨が上がり、無事に開催することが出来ました。
探鳥会では「野鳥ビンゴ」が行われることになっており、受付でマス目が空欄となった野鳥ビンゴが配られました。
「ビンゴになった方には景品もありますよ！」
との声に楽しい雰囲気がうまれ、参加者は、「今日見られそうな鳥」を野鳥紙芝居で紹介するリーダーの話を熱心に聞きながら、マス目に野鳥の名前を埋めていきました。

探鳥会のコースにはトイレが無いとのことで、歩きはじめる前にトイレ休憩の時間がしっかり取られました。すると待ち時間に、境内の木に、ツグミやムクドリ、キジバトなどが順々にやってきて、リーダーが早速、望遠鏡で捉えて、参加者に紹介していました。

木にやってきた鳥を観察

境内では、アトリの群れが登場。初めて参加したという女性は、
「今までスズメだと思っていたかもしれません。双眼鏡で見るとオレンジ色がきれいですね。」
と話されていました。
筑後川を目指して階段を降り、ビンズイがよく

見られるという石垣で姿を探しました。
「見えた！」
という声と
「どこか分からない。」
という声。合計３羽のビンズイがおり、リーダーと会員の方がそれぞれ近くの参加者に丁寧に場所を伝えていました。
　筑後川では、カンムリカイツブリやオナガガモ、ヒドリガモなどを観察し、解散場所には、11 時 10 分頃、到着しました。
　ビンゴになった方（全員）には、鳥のキンホルダーや後援をいただいている久留米市のゆるキャラの飴などが配られ、皆さん疲れも吹き飛んでいたようです。その後、探鳥会や支部へのお誘いがあり、11 時 30 分には終了となりました。

■参加者の声
小学２年生の女の子のお母さん：娘が鳥に興味を持っており、いつも図鑑を見ています。カワセミが好きなので、いつか本物を見せてあげたいです。
70 代女性：北海道の支部に長年所属していましたが、久留米に引っ越した後、本部会員を続けていました。今日を機会に筑後支部に入会したいと思います。

■まとめ
　初心者に手厚い対応ができるよう準備がされた探鳥会でした。開始の挨拶では、会員の方に手をあげてもらい、一般参加者に対して、「リーダーだけでなく、会員の方からも話が聞けますよ」とさりげなく紹介するシーンがありました。探鳥会では、ベテラン会員の方が初めての方に優しく話しかけるシーンが見られ、とても雰囲気の良い探鳥会でした。お楽しみのビンゴも用意され、満足度の高い探鳥会だったと思います。参加者の中から、別の探鳥会へ継続して参加してくださる方がいることを願っています。

（普及室／堀本理華）

【性別】

男性	４名
女性	２名
未記入	２名

【年齢構成】

９歳以下	１名
10代	０名
20代	０名
30代	０名
40代	４名
50代	０名
60代	０名
70代	３名
未記入	０名

【認知経緯】

郵送パンフ	１名
メール	０名
新聞	０名
友人・知人	１名
ＨＰ支部	０名
ＨＰ本部	２名
ＦＢ	０名
LINE	０名
その他	４名

【会員・非会員】

一般	８名
会員	０名
不明	０名

【ＢＷ経験】

１回	７名
2～4回	０名
5～9回	０名
10回以上	１名
未記入	０名

【居住区】

久留米市	７名
小郡市	１名

◆秋期初心者向けバードウォッチング結果一覧

表２

2018年度秋期「初心者向けバードウォッチング」結果一覧

	開催日	支部	実施場所	天気	全参加者数	一般参加者数（全参加者に占める割合）	初心者数（全参加者に占める割合）	お試し入会者数（一般参加者に占める割合）	リーダー数（1人のリーダーに対する参加者数）
No.1	10/6（土）	栃木県支部	井頭公園	濃霧のち曇り	35	25(71%)	22(63%)	1(4%)	6(6)
No.2	10/14（日）	根室支部	明治公園	−	4	1(25%)	−	制度なし	2(2)
No.3	10/21（日）	根室支部	根室市市民の森	晴れ	6	3(50%)	−	制度なし	2(3)
No.4		福井県	中池見湿地	晴れ	32	28(88%)	17(53%)	制度なし	5(6)
No.5	10/28（日）	埼玉	緑の丘公園	晴れ	29	24(83%)	20(69%)	紹介なし	5(6)
No.6	11/3（土・祝）	苫小牧支部	ウトナイ湖周辺	晴れ	24	22(92%)	18(75%)	3(14%)	6(4)
No.7		遠江	浜名湖ガーデンパーク	曇り	27	14(52%)	9(33%)	制度なし	5(5)
No.8	11/4（日・祝）	宮城県支部	青葉山公園	晴れ	22	22(100%)	21(95%)	4(18%)	16(1)
No.9		南富士支部	田貫湖	曇り	42	38(90%)	−	制度なし	11(4)
No.10	11/11（日）	根室支部	明治公園	−	3	3(100%)	−	制度なし	2(2)
No.11	11/17（土）	埼玉	見沼自然公園	晴れ	15	12(80%)	8(53%)	紹介なし	5(3)
No.12	11/18（日）	根室支部	市民の森	−	6	4(67%)	−	制度なし	2(3)
No.13		神奈川支部	三浦海岸	晴れ	34	30(88%)	22(65%)	8(27%)	5(7)
No.14		大阪支部	長居自然史博物館	晴れ	168	150(89%)	115(68%)	26(17%)	24(7)
No.15		宮崎県支部	平和台公園	晴れ	32	10(31%)	7(22%)	4(40%)	5(6)
No.16	11/23（金・祝）	東京	日比谷公園	晴れ	50	50(100%)	−	30(60%)	9(6)
No.17		京都支部	鴨川右	晴れ	37	37(100%)	29(78%)	紹介なし	9(4)
No.18		滋賀	南郷洗堰	晴れ時々曇り	29	28(97%)	22(76%)	2(7%)	6(5)
No.19		奈良	平城宮跡	晴れ	34	24(71%)	21(62%)	2(8%)	2(17)
No.20	11/24（土）	千葉県	千葉公園	曇り	45	34(76%)	26(58%)	14(41%)	9(5)
No.21		埼玉	黒浜沼	晴れ	12	11(92%)	11(92%)	紹介なし	4(3)
No.22		栃木県支部	鳥野目河川公園	晴れ	33	14(42%)	9(27%)	0	9(4)
No.23	11/25（日）	神奈川支部	こども自然公園	晴れ	63	55(87%)	56(89%)	2(4%)	14(5)
No.24		諏訪支部	諏訪湖横河川河口	晴れ	8	5(63%)	5(63%)	3(60%)	7(1)
No.25		佐賀県支部	佐賀県立森林公園	晴れ	42	22(52%)	16(38%)	制度なし	2(21)
No.26	12/1（土）	東京	日比谷公園	晴れ	61	61(100%)	−	37(61%)	8(8)
No.27		千葉県	江戸川河川敷	晴れ	25	22(88%)	22(88%)	0	9(3)
No.28	12/2（日）	大阪支部	服部緑地	晴れ	47	40(85%)	43(91%)	1(3%)	11(4)
No.29	12/8（土）	栃木県支部	栃木県中央公園	晴れ	65	57(88%)	46(71%)	0(0%)	6(11)
No.30		埼玉	大宮公園	晴れ	14	11(79%)	14(100%)	4(36%)	10(1)
No.31		滋賀	甲賀の里山	晴れ	30	26(87%)	20(67%)	2(8%)	4(8)
No.32	12/9（日）	根室支部	明治公園	−	2	2(100%)	−	制度なし	2(1)
No.33		茨城県	茨城県植物園	晴れ	18	18(100%)	13(72%)	3(17%)	2(9)
No.34		三重	松坂農業公園ベルファーム	晴れ時々曇り	22	20(91%)	19(86%)	制度なし	5(4)
No.35	12/15（土）	京都支部	岡崎疏水（琵琶湖疏水）	曇り	12	11(92%)	10(83%)	紹介なし	8(2)
No.36	12/16（日）	根室支部	市民の森	−	6	3(50%)	−	制度なし	2(3)
No.37		茨城県	乙戸沼公園	曇り	9	9(100%)	6(67%)	0	2(5)
No.38		群馬	城沼	曇り	12	12(100%)	7(58%)	1(8%)	8(2)
No.39		和歌山県支部	紀伊風土記の丘	晴れ	35	26(74%)	18(51%)	4(15%)	4(9)
No.40	12/22（土）	神奈川支部	山下公園	曇り	37	33(89%)	27(73%)	12(36%)	13(3)
No.41		栃木県支部	永野川緑地公園	晴れのち曇り	14	5(36%)	3(21%)	0	6(2)
No.42		滋賀	守山みさき自然公園			雨天中止			
No.43	12/23（日）	鹿児島	石橋記念公園	晴れ	54	37(69%)	31(57%)	0	4(14)
合計					1295	1059（82%）	733（57%）	163（15%）	

＊「初心者」は、これまでのバードウォッチング経験が「0から4回」の方

＊次の会では、当日の正式入会がありました。No1：1人、No.15：3人、No.17：2人、No.22：3人、No.29：1人、No.37：4人、No.41：2人

◆普及室からのお知らせ

■2019 年「ツバメのねぐら入り観察会」の情報をお寄せください■

今年も、野鳥初心者にも関心を持ってもらいやすい「ツバメのねぐら入り観察会」を集約して広報し、一般の方が野鳥や当会に関心を持つきっかけになる場づくりをしたいと考えております。各支部事務局宛に 3 月 22 日付けで 2019 年「ツバメのねぐら入り観察会」情報のご提供に関する書類をお送りいたします。

広報を希望される観察会がありましたら、4 月 21 日（日）までに、Email または FAX、郵送で財団普及室までお知らせください。

とりまとめた探鳥会の情報は、ホームページやパンフレット「探鳥会のご案内」、メール送信等で広報し、特に一般の方に参加を呼び掛けます。

【送付先】
E-mail ：tancho-staff@wbsj.org
FAX：03-5436-2635
住所：〒141-0031　東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
（公財）日本野鳥の会　普及室　普及教育グループ

【締切】4 月 21 日（日）

■春期「初心者向けバードウォッチング」を広報します■

2019 年度春期（2019 年 4 月～6 月）「初心者向けバードウォッチング」は、20 支部とともに 34 回開催します。実施概要をお寄せいただいた支部のみなさま、ありがとうございました。これらの「初心者向けバードウォッチング」に関して、以下の広報を実施しますのでお知らせいたします。

（1）「初心者向けバードウォッチングのご案内」送付
3 月下旬に、パンフレット「初心者向けバードウォッチングのご案内」を全国の約 40,000 名（小冊子申込者等）に送付します。
・「初心者向けバードウォッチングのご案内」PDF
https://www.wbsj.org/shibu/tancho/img/bbw2019spr.pdf

（2）財団 HP 上の特設ページ更新
財団 HP 内の特設ページ「初心者向けバードウォッチングのご案内」に、春期の初心者向けバードウォッチングの情報を掲載します。
https://www.wbsj.org/activity/event/beginners-event/
※春期開催分は 3 月下旬に公開予定です

（3）一斉メール送信
2019 年 3 月下旬に全国約 60,000 名（小冊子申込者等）に送信予定です。

「初心者向けバードウォッチングのご案内」表

◆探鳥会保険集計結果（2019 年 1 月分）

1 月は 70 支部からご報告をいただき、計 285 回の探鳥会が開催され、のべ 8,110 人が参加されました。

表 3. 1 月の探鳥会保険集計結果（2019 年 3 月 15 日現在）

支部	開催回数（回）	参加者数		スタッフ数（人）	合計人数（人）
		会員（人）	非会員（人）		
オホーツク支部	1	18	1	1	20
根室支部	2	4	6	4	14
釧路支部	2	14	0	4	18
十勝支部	–	–	–	–	–
旭川支部	0	0	0	0	0
滝川支部	–	–	–	–	–
道北支部	–	–	–	–	–
江別支部	–	–	–	–	–
札幌支部	3	120	50	10	180
小樽支部	2	4	5	2	11
苫小牧支部	1	5	4	2	11
室蘭支部	1	11	0	3	14
函館支部	–	–	–	–	–
道南桧山	1	12	16	3	31
青森県支部	–	–	–	–	–
弘前支部	3	23	0	3	26
秋田県支部	3	26	0	3	29
山形県支部	2	32	6	5	43
宮古支部	–	–	–	–	–
もりおか	1	26	4	5	35
北上支部	2	25	4	4	33
宮城県支部	5	77	26	10	113
ふくしま	2	55	0	3	58
郡山支部	2	20	0	4	24
二本松	–	–	–	–	–
白河支部	0	0	0	0	0
会津支部	1	5	1	1	7
奥会津連合	–	–	–	–	–
いわき支部	0	0	0	0	0
福島県相双支部	–	–	–	–	–
南相馬	–	–	–	–	–
茨城県	11	127	59	18	204
栃木県支部	20	377	114	63	554
群馬	7	101	73	25	199
吾妻	1	21	3	2	26
埼玉	18	464	155	108	727
千葉県	10	170	71	45	286
東京	15	676	33	81	790
奥多摩支部	9	170	16	32	218
神奈川支部	15	294	71	48	413
新潟県	0	0	0	0	0
佐渡支部	–	–	–	–	–

富山	2	37	11	4	52
石川	2	32	8	6	46
福井県	2	6	23	9	38
長野支部	1	30	7	2	39
軽井沢支部	1	9	16	1	26
諏訪支部	2	15	10	4	29
木曽支部	−	−	−	−	−
伊那谷支部	0	0	0	0	0
甲府支部	2	51	12	4	67
富士山麓支部	1	6	1	2	9
東富士	−	−	−	−	−
沼津支部	1	12	14	2	28
南富士支部	2	75	10	3	88
南伊豆	1	10	0	2	12
静岡支部	−	−	−	−	−
遠江	2	70	22	15	107
愛知県支部	15	207	137	39	383
岐阜	0	0	0	0	0
三重	2	9	11	4	24
奈良支部	4	100	6	8	114
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	3	19	34	7	60
京都支部	9	197	80	32	309
大阪支部	20	463	131	112	706
ひょうご	9	158	214	51	423
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	1	28	2	1	31
島根県支部	2	10	3	2	15
岡山県支部	5	88	28	14	130
広島県支部	4	71	35	7	113
山口県支部	5	29	20	5	54
香川県支部	2	63	16	3	82
徳島県支部	5	72	8	5	85
高知支部	−	−	−	−	−
愛媛	3	50	18	6	74
北九州支部	4	69	9	4	82
福岡支部	6	83	20	17	120
筑豊支部	3	53	4	3	60
筑後支部	4	23	14	14	51
佐賀県支部	5	104	27	6	137
長崎県支部	−	−	−	−	−
熊本県支部	6	76	80	18	174
大分県支部	2	46	21	4	71
宮崎県支部	3	55	32	3	90
鹿児島	2	49	33	7	89
やんばる支部	−	−	−	−	−
石垣島支部	−	−	−	−	−
西表支部	2	1	4	3	8
全国	285	5,353	1,839	918	8,110

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信３月号の電子メール版の購読者数は、先月より１名減って844名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表４．探鳥会スタッフ通信３月号電子メール版の購読者数（2018年３月14日現在）

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	6	長野支部	1
根室支部	0	軽井沢支部	1
釧路支部	2	諏訪	7
十勝支部	1	木曽支部	1
旭川支部	3	伊那谷支部	1
滝川支部	1	甲府支部	4
道北支部	1	富士山麓支部	0
江別支部	0	東富士	0
札幌支部	5	沼津支部	3
小樽支部	3	南富士支部	3
苫小牧支部	2	南伊豆	2
室蘭支部	5	静岡支部	2
函館支部	0	遠江	10
道南桧山	1	愛知県支部	44
青森県支部	1	岐阜	6
弘前支部	5	三重	19
秋田県支部	4	奈良支部	3
山形県支部	4	和歌山県支部	5
宮古支部	1	滋賀	20
もりおか	4	京都支部	31
北上支部	2	大阪支部	26
宮城県支部	39	ひょうご	14
ふくしま	5	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
郡山支部	1	島根県支部	13
二本松	1	岡山県支部	28
白河支部	2	広島県支部	9
会津支部	2	山口県支部	16
奥会津連合	0	香川県支部	6
いわき支部	1	徳島県支部	6
福島県相双支部	0	高知支部	1
南相馬	0	愛媛	15
茨城県	22	北九州	11
栃木県支部	59	福岡支部	12
群馬	24	筑豊支部	21
吾妻	1	筑後支部	5
埼玉	39	佐賀県支部	5
千葉県	24	長崎県支部	1
東京	68	熊本県支部	13
奥多摩支部	48	大分県支部	4
神奈川支部	25	宮崎県支部	4
新潟県	2	鹿児島	3
佐渡支部	1	やんばる支部	0
富山	2	石垣島支部	1
石川	29	西表支部	1
福井県	11	合計	845

（普及室）

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

★編集後記

初心者向け探鳥会の拡大とともに、リーダー研修会の需要が高まってきました。初心者対応、リスクマネジメントなど、皆さんの支部の研修会情報をお寄せください。また、財団でも講師を派遣しています。詳細は普及室までお問い合わせください。

（普及室／箱田敦只）

日本野鳥の会
探鳥会スタッフ通信 第72号
◆発行
（公財）日本野鳥の会　2019年3月22日
◆担当
普及室　普及教育グループ
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
TEL：03-5436-2622
FAX：03-5436-2635
E-mail：tancho-staff@wbsj.org